

(科目名称) キャリアデザイン		(担当者氏名) 小 田 光 康
2 単位	春学期・秋学期	1 年次
1. 授業の概要・到達目標 「キャリア」という言葉は日本語にしにくい言葉で、あえて訳せば「職業生涯」となる。つまりキャリアとは、ある特定の時点での仕事やその成果を問題にするのではなく、過去・現在・将来というように時間が経過していく中で、仕事を中心に見た生涯のことを意味している。このようなキャリアは、それぞれの人によって異なっていて、千人の人がいれば千とおりのキャリアが生まれ、しかもそのうちのどのキャリアが優れているという性格のものでもない。なぜなら理想的なキャリアも、また人によって異なっているからである。キャリアデザインとは、各人が、それぞれの適性や興味、あるいは経験などをベースに、仕事（や活動）を中心としたそれぞれの生涯を設計することである。その中には、そのような生涯を実現するためには、現在あるいは近い将来、何をしたら良いかを考えることも含まれている。 この授業は、受講生が自らのキャリアをデザインしていくための糸口を見出させるようになることを目標としている。そのために授業では、最初の1回では概論的な説明を行なうが、それ以降は、様々な分野で実際に活躍している人をゲストに招き、その経験などを話してもらうことにしている。これらをもとに、学生諸君が自らのキャリアをデザインしていくことを期待している。		
2. 授業内容 第1回は、この科目の担当教員が次の内容の講義を行なう。 「キャリアデザインとは何か」 第2回以降は、以下のゲストスピーカーによる講義である。 なお、それぞれ超多忙に活躍されている方々なので、開講順序の変更等もありうるが、その都度、Oh-o!Meiji等でアナウンスを行うので、注意されたい。 1 オリエンテーション「キャリアデザインとは何か」 2 「茶の道」というキャリア 3 入社7年目-広告業界の社畜のススメ 4 弁護士のこれまでと、これから 5 スタートアップで働くということ 6 旅から生まれる未知で多様な生き方と仕事 7 英語でケンカできるキャリアの作り方 8 テレビで働くということ～アナウンサーのコミュニケーション術～ 9 肩書きは自分で作れ Co の時代のキャリアデザイン 10 外資系企業で働くということ 11 企業コミュニケーション・広報という仕事 12 社会で楽しく生き抜くサバイバル術-コンテンツ編 13 広告屋の背伸びのキャリアデザイン 14 狂ってなんぼ-社会に出て納得できる学生時代の過ごし方 15 自分のキャリアは自分で創れ		
3. 履修の注意・準備学習の内容 1. 不可抗力以外の遅刻は欠席扱い、授業中の私語は厳禁。 2. 受講態度が不良の場合、退室を命じ、その後の受講を認めない。		
4. 教科書 特定の教科書は使用しない。		

5. 参考書 平松庚三著『君は英語でケンカができるか?～プロ経営者が教えるガッツとカタカナ英語の仕事術キャリアに揺れる』(クロスメディア・パブリッシング(インプレス), 2015)
6. 成績評価の方法 出席状況と、毎回の提出を課すレポート(受講ノート): 70% 最終レポート: 30% ※ただし、全体の 3/4 回以上の出席と、期限内のレポート提出は、単位取得の必要条件
7. その他